



徳島大学 生物資源産業学部

FACULTY OF BIOSCIENCE & BIOINDUSTRY, TOKUSHIMA UNIVERSITY

Guidebook 2016–2017



生物資源産業学部 生物資源産業学科

平成28年4月 新設

CONTENTS

学部の概要	1
学部長あいさつ	2
アドミッションポリシー	3
カリキュラムの特長	4
各コースの特長	
応用生命コース	5
食料科学コース	7
生物生産システムコース	9
教員紹介	11
常三島キャンパスマップ	13
入試情報	15
卒業生の進路	17
取得できる資格・受験資格	18
アクセス	19

生 物資源産業学は、生物の優れた機能とそれを支える構造を科学的に解明し、それらの成果を生物資源の生産・応用に活用し、新しい産業を創出するための総合的学問・技術体系です。

本学部は、21世紀における食料、環境、医療、エネルギーなどに関連するさまざまな課題を解決するとともに、その技術を新しい産業創出に活かす人材を育成するため、「ものづくりマインド」と「起業マインド」の双方を備えた人材の育成に重点を置きます。





徳島発バイオで日本を 元気に！

生物資源産業学部は徳島大学において30年ぶりに新設された農学系の学部であり、この名称を持つ学部は本学以外にはありません。学部の英語名は、Faculty of Bioscience & Bioindustryとなり、生物資源の生産、加工による新たな産業の創出に貢献できる人材の育成を目的に掲げています。そのため、微生物から動植物に至る広範囲な生物学や生命科学に関する知識、最先端のバイオテクノロジーや生物資源の応用技術、食品の保存や加工技術、生物資源の生産育種技術を修得します。さらにこれらの知識を活かした製品開発とビジネスに必要な経済関連科目や特許、生物資源に関する法規についても学修します。

本学部の学生の皆さんには、食品、医薬、農林水産畜産業、地域経済、食糧問題などの多くの課題に対する解決法を思考できるようになっていただきたいと思います。そのためには今まで知らなかった世界を経験し、行動的かつ積極的な学生になってください。

徳島大学 生物資源産業学部長

出 明 考

本 学部では、バイオテクノロジーを応用した生物資源の生産、医薬、食品としての有効利用に関連する幅広い知識、国際的に通用する専門性、バイオ産業創出に必要な起業マインドを持った人材の育成を目的としています。

そのため、本学部では、次のような人物を求めています。

● 求める人物像

関心・意欲・態度	バイオテクノロジー、生命、医療、食料、農業、環境に強い関心と学びに対する意欲があり、自分で明確な目標をもっている人	探究力	自分が関心を持ったことを深く掘り下げようとする人
表現力	自分が伝えたいことを相手に表現できる人	知識・教養	本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき※理科系・文科系にわたる知識・教養をもつ人
思考・判断力	今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人	協働力	問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

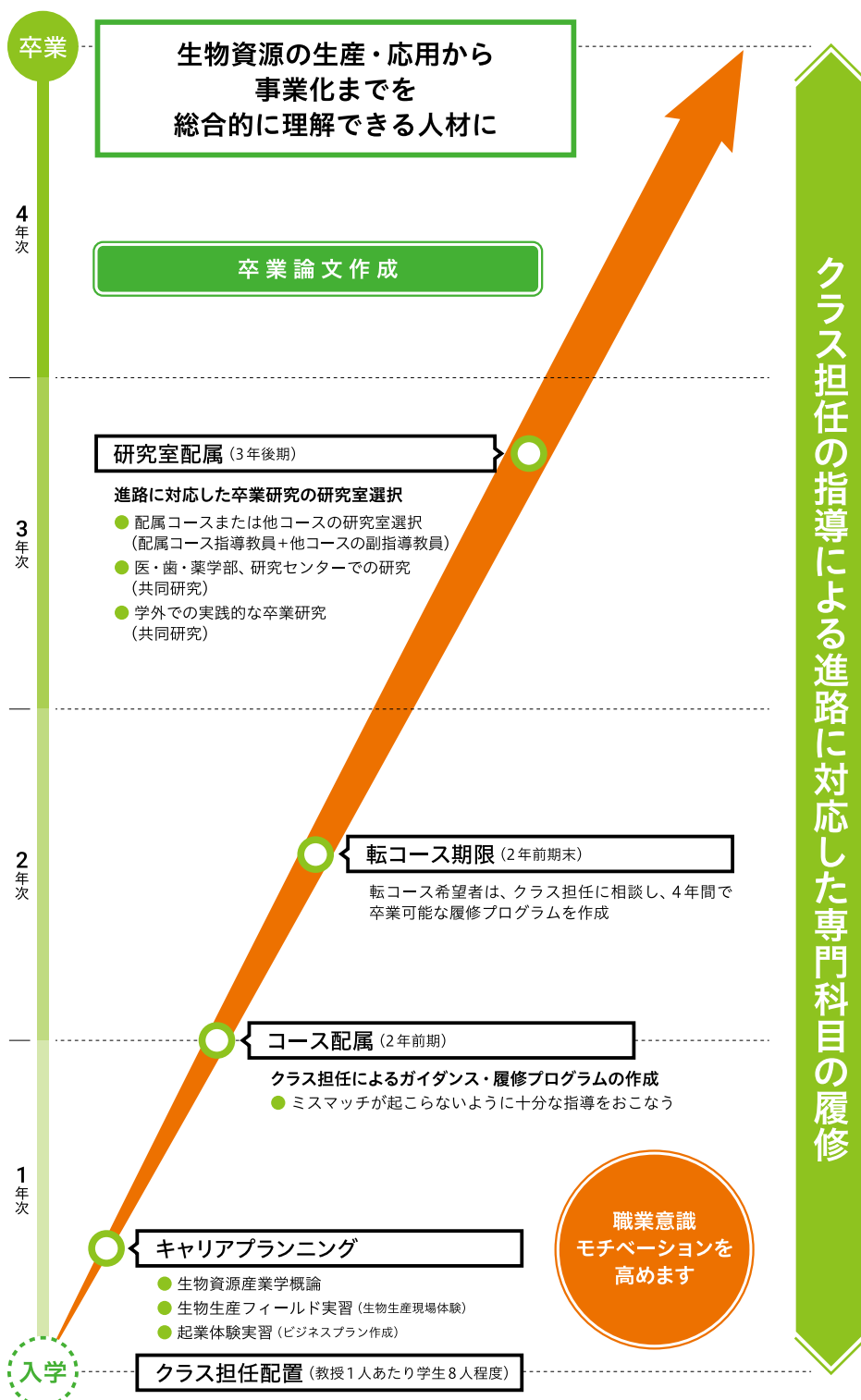
※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科	「化学、化学基礎」「生物、生物基礎」「物理、物理基礎」から2科目以上に渡る内容の理解と、自然環境で起こっている現象やその問題解決に必要な知識・教養。特に、入学後の学修に備えるため、化学に関する科目は実験データの解析力などを踏まえて、着実な修得をはかること。
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」における内容の理解と応用力
英語	国際的な専門分野を学ぶために必要な読解力と基礎的な運用能力
国語	様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力
地歴・公民	地歴・公民における基礎的内容の理解

教 養教育科目と生物資源に関する基礎知識を学科共通科目によって学んだ上で、2年次からコースに配属し、学科共通の専門科目（生物資源の生産、食料・医薬への応用と生物資源の産業化に必要な経営・経済に関する専門科目）を学びながら、コースごとの体系的な科目履修によって専門性を深めます。

- コースに関係なく卒業研究も自由に選択できるカリキュラムになっているため、専門性を維持しながら、分野横断的に幅広い知識を修得できます。

- 2年次にコースを選択するので、余裕を持って専門分野を選択でき、就職、進学先も広範囲に選択することができます。





応用生命コース / BIOENGINEERING COURSE

応用生命 コース

では、生物学、化学、工学を融合し、最新バイオ技術を駆使して健康、資源、環境等の諸問題を解決するための専門知識や技術を修得することができます。創薬、細胞機能の解明と応用、バイオマス有効利用等により、諸問題を解決できる能力や、開発したバイオテクノロジーを産業へ応用し、バイオベンチャー関連の企業でも活躍できる能力を養成します。

Point!

教育の

学科専任教員と製薬、食品製造、醸造に関連する企業からの学外講師による実学もあります。

教員からの

Message



特 長

生命分子や細胞の基礎研究からゲノム工学、細胞工学、微生物工学等の応用研究までの学問分野を教育の対象として、生物資源からの医薬品開発、培養細胞によるタンパク質医薬品の大量生産や創薬スクリーニング等の医薬工連携分野及びバイオエネルギー生産等の教育研究を重点的に進めています。

進 路
と
未来予想図

生物工学的アプローチによる生物資源（微生物・培養細胞など）のヘルスサイエンスへの応用、製品化によってバイオ産業の育成と経済の発展に貢献できる人材を養成します。



製薬系企業、化学系企業、発酵醸造業自営、食品関連企業（生産・研究・商品開発）、医用工学系企業、バイオベンチャー企業、公務員、商社など

病原性細菌の
「災いを転じて福となす!!」

長 宗 秀 明

教 授

私 たちの研究室では感染症の予防、診断、治療に役立てるため、病原体が持つ毒素や酵素などの生理活性物質の研究をしています。

またそれらを改造し利用することで、災いを転じて福となし、新しい医療技術や医薬品の開発を目指しています。

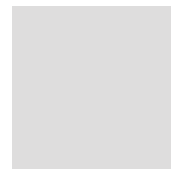
がん治療のための創薬と
サプリメントの開発研究最前線

宇 都 義 浩

教 授

我 々は発育鶏卵を用いた癌の治療薬や診断薬の研究を行っており、癌や種々の感染症に対して臨床効果のある免疫サプリメント「初乳MAF」の開発に成功しています。

今後は、初乳MAFの世界展開を目指しており、癌や感染症に関する創薬研究に興味のある学生を待っています。

日本の豊かなバイオマス
巧みに操ろう!!

浅 田 元 子

講 師

バ イオマス、とは“生物資源”です。身近なこれらから、どうしたら余すところなくヒトや自然に有用なモノが環境低負荷で創れるか、を化学・物理・生物・機械的多方面から追求し、技術を駆使して創造してみませんか。

食料科学コース

FOOD SCIENCE COURSE

食料科学 コース

では、最新バイオ技術を駆使して食料、健康、資源、環境の諸問題を解決するための専門知識、技術を修得することができます。微生物機能の利用、機能食品の開発、フードビジネスに関する教育を進め、農学、工学、医学、栄養学及び薬学的見地から新しい安全な食品開発と産業化に貢献する能力を養成します。

Point!

教育の

生薬や天然由来の機能性素材の研究を行っている医学部医科栄養学科、先端酵素学研究所や薬学部の特任教員と、実学は徳島県立工業技術センターや地元企業の協力を得て進めます。

教員からの

Message



特 長

安全な食料の効率的生産による安定供給と機能食品開発に貢献できる能力の育成を目的として、農学、工学、医学、栄養学、薬学的アプローチによる食品の加工・保蔵、機能、安全、栄養、未利用生物資源開発に関する教育研究を製品開発や販売戦略等も含めて行います。

進 路
と
未来予想図

栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見と機能食品開発によって食品産業の育成と経済の発展に貢献できる人材を養成します。



フードビジネス自営、発酵醸造業自営、食品関連企業（生産・研究・商品開発）、バイオベンチャー企業、食品流通業、サービス業、製薬系企業、化学系企業、農林水産業団体職員、公務員、商社

安全な食品で
有害な微生物を抑制する

横井川 久己男

教授

肉 眼では認識できないほど小さな微生物ですが、有害な微生物が食品に混入し、ヒトの健康を害する場合があります。私たちは、安全な食品成分によって有害な微生物のはたらきを未然に抑える研究を進めています。

美味しくて体に良い「食」を！



金丸 芳

准教授

毎 日どんな食事をしていますか？今や加工食品は欠かせません。食・美味しさとは何か、食品加工の意義と技術、食品衛生、加工食品の役割や現状を話します。安全な食を提供できる能力と理念を修得して下さい。

食と健康（食品の機能性）



向井 理恵

講師

食 品の付加価値として、「機能性」に注目が集まっています。食品の機能性研究では、健康を支える食品成分について「何が」「どこで」「どのように」働いているのかを探り、食品と人体との関係をひも解くことを目指しています。



生物生産システムコース

生物生産 システム コース

では、先端的作物生産、家畜繁殖、育種工学、植物工場、資源増殖の教育研究を製品開発や販売戦略等も含めて行い、安全な生物資源の安定供給に関わる諸問題について多面的観点から解決法を探求し、生産性の高い持続的1次産業を構築するための知識・技術力を修得します。また、生産生態系の保全を通して、農山漁村の多面的機能についても学び、1次産業の後継者教育を養成します。

Point!

教育の

徳島県下自治体、徳島県立農林水産総合技術支援センターと連携しながら、附属施設にてフィールドワークを行います。

教員からの

Message



特 長

植物工場に代表される先端技術を利用した生物生産システム、生物が本来有する遺伝子による品種改良、生産生態系における資源管理手法や増殖技術、高付加価値を有する動植物の開発と種苗生産、フードシステムの基本的理解に基づく市場ニーズの動向を的確に捉えた販売戦略の企画力について教育します。

進 路
と
未来予想図

農工連携による生物資源の生産管理システム、育種・品種改良、資源の高機能化によって1次産業を発展させ、地域社会・経済の活性化に貢献できる人材を養成します。



アグリビジネス自営、植物工場システムエンジニア、農業自営、農林水産技術者、畜産技術者、地域おこしを目的としたNPOの職員、農林水産業団体職員、公務員、食品関連企業（生産・研究・商品開発）、食品流通業、商社



AGRO SCIENCE COURSE

動物に癒されて研究
—いきものがかり—

音井 威重

教 授

石 井キャンパス（農場）で先端技術を用いた糖尿病ブタなど医療用ブタの作製と野生動物の精子等について研究しています。“いきもの係”の活動もありますが、スタッフは獣医師が多く、動物好きな方と一緒に研究できれば楽しいなと思います。

水の生きもので地域を元気に



濱野 龍夫

教 授

徳 島は水の王国。潜って遊べる生きものあふれる川。瀬戸内海から太平洋につながって多様な魚種を育む海。研究室では、地域を元気にする水の生きものの増殖や保全技術の開発、そして、その生きものを応用するイベントや六次産業化をサポートしています。

植物がどのように環境を感じるか



刑部 祐里子

特任准教授

植 物は地球上のさまざまな環境に適応して生存しています。世界的な環境悪化に耐えられる新しい農作物作出を目指して、多様な環境下で植物がどのように生き延びようとしているかを分子レベルで明らかにします。

応用生命 コース

教授



宇都 義浩

〔専門〕創薬科学

〔研究テーマ〕発育鶏卵を用いた制癌剤および免疫賦活剤の創薬研究

〔研究室〕機械棟8階



長宗 秀明

〔専門〕微生物学

〔研究テーマ〕細菌由来の生理活性物質：基礎研究から医療／細胞工学への応用研究

〔研究室〕化学・生物棟7階



中村 嘉利

〔専門〕バイオマス変換工学

〔研究テーマ〕バイオマスの総合的有効利用法の構築

〔研究室〕機械棟7階



松木 均

〔専門〕生物物理化学

〔研究テーマ〕両親媒性分子集合系の生物物理化学的研究

〔研究室〕化学・生物棟6階

准教授



玉井 伸岳

〔専門〕生物物理化学

〔研究テーマ〕脂質膜の構造特性に関する物理化学的研究

〔研究室〕化学・生物棟6階



友安 俊文

〔専門〕微生物学

〔研究テーマ〕微生物の病原性発現機構の解析

〔研究室〕化学・生物棟7階



間世田 英明

〔専門〕微生物学

〔研究テーマ〕抗生物質耐性菌の制御や環境微生物の生態学的解析と制御

〔研究室〕藤井節郎記念医科学センター5階



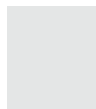
湯浅 恵造

〔専門〕分子細胞生物学

〔研究テーマ〕細胞内シグナル伝達機構の解明とその応用

〔研究室〕化学・生物棟7階

講師



浅田 元子

〔専門〕生物機能・バイオプロセス

〔研究テーマ〕未利用植物性バイオマスの有用資源化

〔研究室〕機械棟7階

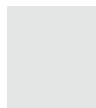


岸本 幸治

〔専門〕幹細胞生物学

〔研究テーマ〕がん細胞における脱分化誘導受容体ならびに神経新生機能に関わる脂質代謝酵素の研究

〔研究室〕化学・生物棟7階／ベンチャービジネス育成研究室4階



佐々木 千鶴

〔専門〕バイオマス変換工学

〔研究テーマ〕木質系・草本系バイオマスの総合的有効利用法

〔研究室〕機械棟7階



田端 厚之

〔専門〕微生物学

〔研究テーマ〕細菌病原因子の作用機構と宿主応答システムの解明に関する研究

〔研究室〕化学・生物棟7階



山田 久嗣

〔専門〕生物有機化学

〔研究テーマ〕In vivo ケミカルプローブの創製

〔研究室〕機械棟8階

助教



鬼塚 正義

〔専門〕蛋白質科学

〔研究テーマ〕抗体医薬品生産プラットフォーム開発

〔研究室〕化学・生物棟8階



後藤 優樹

〔専門〕生物物理化学

〔研究テーマ〕脂質・界面活性剤二重膜の高圧物性

〔研究室〕化学・生物棟6階



白井 昭博

〔専門〕微生物学

〔研究テーマ〕光反応を利用した病原性微生物制御法の構築

〔研究室〕機械棟8階

食料科学 コース

教授



小山 保夫

〔専門〕細胞生物学

〔研究テーマ〕化学物質（食料由来成分から農薬などの環境汚染物質まで）の細胞への作用・影響評価

〔研究室〕総合科学部3号館3階



櫻谷 英治

〔専門〕応用微生物学

〔研究テーマ〕機能性のある油をつくる微生物を利用した発酵研究

〔研究室〕化学・生物棟8階



辻 明彦

〔専門〕酵素化学

〔研究テーマ〕酵素の工学、医学応用に関する研究

〔研究室〕化学・生物棟7階



横井川 久己男

〔専門〕食品微生物学

〔研究テーマ〕有用微生物の機能改善と有害微生物の機能抑制

〔研究室〕総合科学部1号館1階

准教授



赤松 徹也

〔専門〕生理学・口腔生理学

〔研究テーマ〕唾液腺の発生・分化・再生の分子メカニズム

〔研究室〕化学・生物棟8階



金丸 芳

〔専門〕食品加工保蔵学・食品衛生学

〔研究テーマ〕生物資源の機能性と有用性および加工特性の研究

〔研究室〕総合科学部3号館3階



川上 竜巳

〔専門〕応用生物化学

〔研究テーマ〕極限環境微生物が作り出すユニークな酵素の機能構造・応用

〔研究室〕総合科学部3号館3階

**田中 直伸**

〔専 門〕天然物化学・生薬学
 〔研究テーマ〕天然物の有効利用を目指した医薬品素材や機能性素材の探索ならびに開発研究
 〔研 究 室〕化学・生物棟8階

**山本 圭**

〔専 門〕病態医化学
 〔研究テーマ〕病態疾患に関わる脂質代謝ネットワークの研究
 〔研 究 室〕化学・生物棟8階

講 師**向井 理恵**

〔専 門〕食品科学・食品機能学
 〔研究テーマ〕食品に含まれるフラボノイドの生理機能の研究
 〔研 究 室〕化学・生物棟8階

助 教**亀村 典生**

〔専 門〕内科系臨床医学
 〔研究テーマ〕機能性食品の研究開発
 〔研 究 室〕化学・生物棟7階

**阪本 鷹行**

〔専 門〕分子生物学
 〔研究テーマ〕バイオマス資源を利用した機能性物質の微生物発酵生産
 〔研 究 室〕化学・生物棟8階

**中橋 睦美**

〔専 門〕生活科学
 〔研究テーマ〕食中毒原因菌に有用な殺菌方法について
 〔研 究 室〕ベンチャービジネス育成研究室4階

生物生産システム コース**教 授****刑部 敬史**

〔専 門〕遺伝子工学
 〔研究テーマ〕新規ゲノム改変技術の開発と植物担子菌育種への応用に関する研究
 〔研 究 室〕藤井節郎記念医科学センター4階

**音井 威重**

〔専 門〕動物生命科学
 〔研究テーマ〕野生動物と家畜における生殖工学技術の展開
 〔研 究 室〕農場事務・研究棟2階／附属施設：農場

**玉 真之介**

〔専 門〕農業経済学
 〔研究テーマ〕農村を中心に地域の持続可能性について経済学や歴史学の手法で研究している
 〔研 究 室〕総合科学部1号館3階

**瀧野 龍夫**

〔専 門〕水圏生産科学
 〔研究テーマ〕水圏生物を増やし保全し利活用するための研究
 〔研 究 室〕総合科学部3号館3階／附属施設：水圏教育研究センター

准教授**刑部 祐里子**

〔専 門〕植物分子生理学
 〔研究テーマ〕植物の環境ストレス応答の分子機構
 〔研 究 室〕藤井節郎医科学センター4階

**佐藤 征弥**

〔専 門〕植物生理学
 〔研究テーマ〕植物の病害の診断・治療。公園の造園設計。イチヨウの伝来・伝播ルートの解明。
 〔研 究 室〕総合科学部3号館3階

**服部 武文**

〔専 門〕森林微生物代謝化学
 〔研究テーマ〕きのこの代謝化学を基盤とした森林・木質資源の生産と総合利用
 〔研 究 室〕総合科学部1号館1階

**三戸 太郎**

〔専 門〕発生生物学
 〔研究テーマ〕昆虫の発生・再生と進化のメカニズム
 〔研 究 室〕化学・生物棟8階

**宮脇 克行**

〔専 門〕遺伝子工学
 〔研究テーマ〕植物の効率的な栽培方法の開発
 〔研 究 室〕農場実習・研究開発棟2階／附属施設：農場

**山城 考**

〔専 門〕植物系統分類学
 〔研究テーマ〕植物の分類と系統に関する研究および希少植物の保全に関する研究
 〔研 究 室〕総合科学部1号館1階

講 師**岡 直宏**

〔専 門〕水産増殖学
 〔研究テーマ〕有用海藻の増養殖、機能性成分の探索
 〔研 究 室〕ベンチャービジネス育成研究室4階／附属施設：水圏教育研究センター

**橋本 直史**

〔専 門〕農業経済学
 〔研究テーマ〕農産物の商品化と流通に関する研究
 〔研 究 室〕ベンチャービジネス育成研究室4階

**山下 聡**

〔専 門〕森林科学
 〔研究テーマ〕森林における菌類と昆虫に関する生態学的研究
 〔研 究 室〕ベンチャービジネス育成研究室4階

助 教**石丸 善康**

〔専 門〕発生生物学
 〔研究テーマ〕発生・再生の分子メカニズムの解明
 〔研 究 室〕化学・生物棟8階

**谷原 史倫**

〔専 門〕動物生命科学
 〔研究テーマ〕家畜における生殖工学研究、有益な遺伝子改変ブタの作出に関する研究
 〔研 究 室〕農場事務・研究棟2階／附属施設：農場

**山田 晃嗣**

〔専 門〕植物生理・病理学
 〔研究テーマ〕植物・病原体間相互作用に関する研究
 〔研 究 室〕総合研究実験棟2階／藤井節郎記念医科学センター4階

常三島キャンパスマップ

JOSANJIMA CAMPUS MAP



ベンチャービジネス育成研究室



総合科学部1号館



シンボルストリート



総合科学部3号館



地域創生・国際交流会館



第1食堂 キララ



学生会館





総合研究実験棟



第2食堂 クレア



機械・化学・生物棟



生協 CAFE San-Jyo



生物資源産業学部事務課
(建設棟 2階)



建設棟



附属図書館



保健管理・総合相談センター

入試情報

ADMISSIONS- INFORMATION



学者選抜については、学科全体で選抜を実施し、
2年前期からコース配属されます。

一般入試（前期日程）〈「確かな学力」重視型〉

定員：50名

項 目	科 目	点 数	科 目	備 考
センター試験 (500点)	国 語	50点	「国語」	
	地 歴	50点	「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」	※ 1科目を選択
	公 民		「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理・政治・経済」	
	数 学	100点	「数学 I・数学 A」「数学 II・数学 B」	
	理 科	150点	「物理」「化学」「生物」	※ 2科目を選択
	外国語	150点	「英語」	
個別学力検査等 (500点)	■ 総合問題 300点 ■ 集団面接 200点			
総得点	1000点満点（センター試験、個別学力検査等の総合評価 ※調査書参考）			

一般入試（後期日程）〈知識・思考力重視型〉

定員：20名

項 目	科 目	点 数	科 目	備 考
センター試験 (700点)	国 語	50点	「国語」	
	地 歴	50点	「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」	※ 1科目を選択
	公 民		「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理・政治・経済」	
	数 学	200点	「数学 I・数学 A」「数学 II・数学 B」	
	理 科	200点	「物理」「化学」「生物」	※ 2科目を選択
	外国語	200点	「英語」	
個別学力検査等 (300点)	■ 総合問題 300点			
総得点	1000点満点（センター試験、個別学力検査等の総合評価 ※調査書参考）			

推薦入試Ⅰ（センター試験を課さない）〈地方創生型〉

定員：8名

区 分	一般枠（農業・工業・商業・総合学科）	地域枠（農業・工業・商業・総合学科）
各枠定員	4名	4名
推薦の要件〈抜粋〉 ※詳細は入学者選抜要項参照	現役のみ（評定平均〈全体〉4.0以上・各校2名まで）	
個別学力検査等 1次選考（400点） 1次選考の合格者は募集人員の2倍程度	調査書 100点 志望動機書 150点 学びの設計書 150点	
個別学力検査等 2次選考（600点）	集団討論 300点 個人面接（口頭試問あり） 300点	
総得点	1000点満点（1次選考及び2次選考の総合評価）	
備考	※一般枠は、全国における高等学校の農業、工業、商業に関する学科又は総合学科を卒業見込みの者を対象。 ※地域枠は、地方創生に向けた取り組みの一環として、徳島県内における高等学校の農業、工業、商業に関する学科又は総合学科を卒業見込みの者を対象。 地域枠の不合格者において、一般枠で成績上位に至った場合は合格対象。 ※高等学校における教科・科目の履修要件は課しません（調査書における学習の記録を参考とします）。	

推薦入試Ⅱ（センター試験を課す）〈主体性・表現力重視型〉

定員：22名

推薦の要件〈抜粋〉 ※詳細は入学者選抜要項参照	現役のみ（評定平均〈理科〉4.0以上・各校人数制限無）	
センター試験（300点）	数 学（100点）：「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」	
	理 科（100点）：「物理」「化学」「生物」	※2科目を選択
	外国語（100点）：「英語」	
個別学力検査等 1次選考（書類選考：300点 ／大学入試センター試験：300点）	■ 調査書 100点 ■ 志望動機書 100点 ■ 学びの設計書 100点 ■ 大学入試センター試験の成績 300点 ※1次選考の合格者は募集人員の2倍程度	
個別学力検査等 2次選考（400点）	■ 集団討論 200点 ■ 集団面接 200点	
総得点	1000点満点（1次選考及び2次選考の総合評価）	
備考	※高等学校における教科・科目の履修要件は課しません（調査書における学習の記録を参考とします）。	

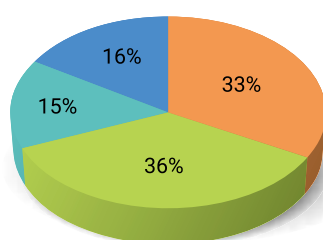
平成25～27年度卒業生の進路状況

生 物資源産業学部の前身である総合科学部社会創
生学科環境共生コース（一部）及び工学部生物
工学科の統計を掲載しています。

総合科学部社会創生学科環境共生コース・大学院総合科学教育部地域科学専攻環境共生分野

○学部生

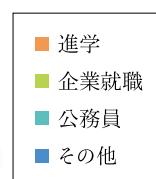
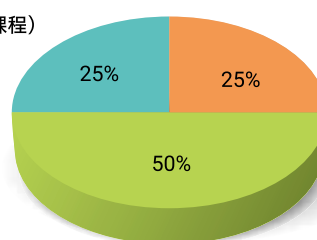
卒業生 45 名



○大学院生

修了生 4 名

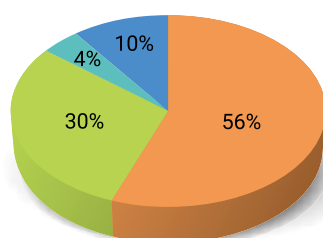
(博士前期課程)



工学部生物工学科・大学院先端技術科学教育部生命テクノサイエンスコース

○学部生

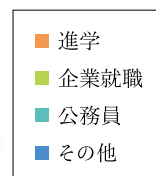
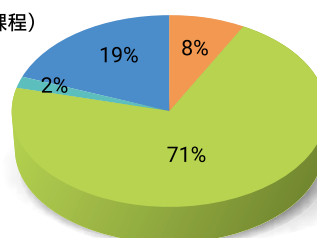
卒業生 183 名



○大学院生

修了生 79 名

(博士前期課程)



平成25～27年度卒業生の就職先一覧

総合科学部社会創生学科環境共生コース・大学院総合科学教育部地域科学専攻環境共生分野

○学部生

イオンリテール(株)、クリニプロ(株)、(株)JCB エクセ、(株)ベンチャーバンク、(株)大塚倉庫、知多信用金庫、徳島県国民健康保険団体連合会、徳島県信用保証協会、高松建設(株)、大阪国税局(国税専門官)、興和新薬(株)、香川県信用保証協会、(株)キリン堂、武田薬品工業(株)、(独)国立病院機構、近鉄グループ、徳島県立城北高等学校 実験助手、大阪府公立学校教員、東大阪市教育委員会、(株)四国中検、徳島県信用農業共同組合連合会、(医)三成会 水の都記念病院、徳島市役所、四国中央市役所、(株)エクストリンク

○大学院生

(株)南日本銀行、東京特別区(板橋区役所)、(株)富士経済、徳島大学生物資源産業学部

工学部生物工学科・大学院先端技術科学教育部生命テクノサイエンスコース

○学部生

(株)大塚製薬工業、ユニチャーム(株)、ニプロ(株)、田辺三菱製薬(株)、日本イーライリリー(株)、徳島県薬剤師会検査センター、長生堂製薬(株)、日亜化学工業(株)、UCC上島珈琲(株)、(株)中国銀行、水島信用金庫、徳島県信用農業協同組合連合会、(株)レグザム、東急リバブル(株)、アベックスグループ、大阪浜美屋ホールディングス、(有)竹内園芸、中野BC(株)、(株)マストミ、徳島県庁、オハヨー乳業(株)、セキスイハイム中四国(株)、(株)カワニシグループ、(株)フジワラテクノアート、アークレイ(株)、日本新薬(株)、(一財)阪大微生物研究会、プライムデリカ(株)、ニプロ(株)、バイエル薬品(株)、(株)アスクレップ、大丸エナウィン(株)、南海マネージメントサービス(株)、アルフレッサ(株)、ソーバル(株)、日本郵政(株)、WDBエウレカ(株)、徳島大学大学院HBS研究部、大阪国税局(国税専門官)、徳島県立製薬環境センター、広島県警察(警察官)、姫路市役所、愛媛県愛南町役場、四国八洲薬品(株)、(株)大い器械、(株)高橋ふとん店、グラクソ・スミスクイライン(株)、アサヒフードアンドヘルスケア(株)、山崎製パン(株)、塩野香料(株)、(株)フジデリカ・クオリティ、(株)キンレイ、(株)フォワイエ、水澤化学工業(株)、三谷セキサン(株)、一富士フードサービス(株)、(株)ネットリンクス、日本コンピュータシステム(株)、愛媛信用金庫、(株)福すし、(株)源吉兆庵

○大学院生

日亜化学工業(株)、Meiji Seika ファルマ(株)、(株)ファンケル、森永乳業(株)、オハヨー乳業(株)、カバヤ食品(株)、(株)神戸屋、野田ハニー食品工業(株)、田辺三菱製薬(株)、(一財)阪大微生物病研究会、沢井製薬(株)、アルフレッサファーマー(株)、パレクセル・インターナショナル(株)、クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン(株)、(株)コスモビューティ、阿波製紙(株)、神東塗料(株)、イーピーエス(株)、(株)EPSアソシエイト、(株)エイアンドティー、(株)香川銀行、(株)大和農園、地域おこし協力隊、(株)大塚製薬工場、(有)丸浅苑、ヤスハラケミカル(株)、(株)やまみ、中央コンピューター(株)、青木油脂工業(株)、(株)CACエクシケア、大鵬薬品工業(株)、(株)ニイバイオ、萩原工業(株)、港産業(株)、四国化工機(株)、高田香料(株)、高知県庁、北島町役場、サラヤ(株)、バイエルクロップサイエンス(株)、(株)MICメディカル、花王プロフェッショナル・サービス(株)、(株)ホワイトフーズ、共和薬品工業(株)、オーミケンシー(株)、(株)創味食品、(株)ピククルスコーポレーション、イコールゼロ(株)、(株)日野洋蘭園、ワールドインテック(株)、WDB(株)、徳島大学工学部、徳島県庁、WDBエウレカ(株)、徳島大学疾患酵素学研究センター、奥野製薬工業(株)

取得できる資格・受験資格 | LICENSES

資格の名称	国家資格	民間資格	備考
食品衛生管理者・食品衛生監視員	○		資格取得が可能
食の6次産業化プロデューサー(レベル3)	○		資格取得が可能
上級バイオ技術者		○	受験資格の取得が可能

アクセス

ACCESS

徳島大学生物資源産業学部

〒770-8513 徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地

生物資源産業学部事務課

常三島キャンパス建設棟2階

Tel. 088-656-8019 [総務係]

088-656-8021 [学務係]

Fax. 088-656-8029

<http://www.bb.tokushima-u.ac.jp/>

農場

〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井 2272-2

水圏教育研究センター

〒771-0361 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦地廻り 壱 96-14



徳島大学 常三島キャンパスへのアクセスガイド

